



# Talend Open Studio for Data Integration インストールお よびアップグレードガイ ドLinux

7.0.1

# 目次

<b>Copyright</b> .....	<b>3</b>
<b>Talend Open Studio for Data Integration: 前提条件</b> .....	<b>4</b>
インストールの準備.....	4
ハードウェア要件.....	4
ソフトウェア要件.....	5
XULRunnerパッケージのインストール.....	7
JAVA_HOMEの設定.....	7
<b>手動によるTalend Open Studio for Data Integrationのインストール</b> .....	<b>9</b>
Talend Studioのインストールと設定.....	9
<b>Talend製品のアップグレード</b> .....	<b>17</b>
環境のバックアップ.....	17
Talend StudioでTalendプロジェクトをアップグレード.....	17
<b>付録</b> .....	<b>18</b>
サポートされる他社のシステム/データベース/ビジネスアプリケーションのバージョン.....	18

# Copyleft

7.0.1に適合。以前のリリースの更新版となります。

公開日:2018年4月13日

本書は、クリエイティブコモンズパブリックライセンス(CCPL)の条件に基づいて提供されています。

CCPLに準拠した許可事項および禁止事項の詳細は、<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.0/>を参照してください。

## 注意

TalendはTalend, Inc.の商標です。

すべてのブランド、商品名、会社名、商標、およびサービスマークは各所有者に帰属します。

## ライセンス契約

このドキュメントに記述されているソフトウェアは、Apache License、バージョン2.0 (以下「本ライセンス」という)の下でライセンスされています。本ライセンスを遵守せずに、このソフトウェアを使用することはできません。<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0.html>からライセンスのコピーを入手することができます。当該の法律による要求または書面での同意がない限り、本ライセンスの下で配布されるソフトウェアは、「現状有姿」で、明示または暗示にかかわらず、あらゆる保証あるいは条件なしで提供されます。ライセンスの下で許可および制限を適用する特定の言語のライセンスを参照してください。

本製品にはAOP Alliance (Java/J2EE AOP standards)、ASM、Amazon、AntLR、Apache ActiveMQ、Apache Ant、Apache Axiom、Apache Axis、Apache Axis 2、Apache Batik、Apache CXF、Apache Chemistry、Apache Common Http Client、Apache Common Http Core、Apache Commons、Apache Commons Bcel、Apache Commons JXPath、Apache Commons Lang、Apache Derby Database Engine and Embedded JDBC Driver、Apache Geronimo、Apache Hadoop、Apache Hive、Apache HttpClient、Apache HttpComponents Client、Apache JAMES、Apache Log4j、Apache Lucene Core、Apache Neethi、Apache POI、Apache ServiceMix、Apache Tomcat、Apache Velocity、Apache WSS4J、Apache WebServices Common Utilities、Apache Xml-RPC、Apache Zookeeper、Box Java SDK (V2)、CSV Tools、DataStax Java Driver for Apache Cassandra、Ehcache、Ezmorph、Ganymed SSH-2 for Java、Google APIs Client Library for Java、Google Gson、Groovy、Guava: Google Core Libraries for Java、H2 Embedded Database and JDBC Driver、Hector: A high level Java client for Apache Cassandra、Hibernate Validator、HighScale Lib、HsqlDB、Ini4j、JClouds、JLine、JSON、JSR 305: Annotations for Software Defect Detection in Java、JUnit、Jackson Java JSON-processor、Java API for RESTful Services、Java Agent for Memory Measurements、Jaxb、Jaxen、Jettison、Jetty、Joda-Time、Json Simple、LightCouch、MetaStuff、Mondrian、OpenSAML、Paracel JDBC Driver、PostgreSQL JDBC Driver、Resty: A simple HTTP REST client for Java、Rocoto、SL4J: Simple Logging Facade for Java、SQLite JDBC Driver、Simple API for CSS、SshJ、StAX API、StAXON - JSON via StAX、The Castor Project、The Legion of the Bouncy Castle、W3C、Woden、Woodstox: High-performance XML processor、Xalan-J、Xerces2、XmlBeans、XmlSchema Core、Xmlsec - Apache Santuario、Zip4J、atinject、dropbox-sdk-java: Java library for the Dropbox Core API、google-guiceで開発されたソフトウェアが含まれています。各ライセンスの下でライセンスされています。

# Talend Open Studio for Data Integration: 前提条件

## インストールの準備

### ソフトウェアパッケージ

このページでは、Talend製品をインストールする際にダウンロードが必要なソフトウェアパッケージについて詳しく説明します。

このページでは:

- YYYYMMDD\_HHmmはパッケージのタイムスタンプ、
- A.B.Cは、パッケージのバージョン番号(メジャー、マイナー、パッチ)にそれぞれ対応しています。

ソフトウェアモジュールはすべて同じバージョン/リビジョンにする必要があります。これは、両方のクライアント側とサーバー側の両方でYYYYMMDD\_HHmmとA.B.Cが一致する必要があることを意味しています。

### 手動インストールソフトウェアパッケージ

ファイル名	説明
Talend-Studio-YYYYMMDD_HHmm-VA.B.C.zip	Studio IDE (GUI) <a href="#">このページ</a> からダウンロードできます。

## コミュニティとサポート

Talendインストールのヘルプおよびサポートを得るための方法がいくつかあります。

- [公式のTalendドキュメント](#)。ここでは、Talend製品のインストールと使用に役立つあらゆるものを見つけることができます。
- [Talendコミュニティ](#)。ここではコミュニティに向けて質問をし、回答を得ることができます。

## ハードウェア要件

Talend製品をインストールする前に、使用しているマシンがTalendによって推奨される以下のハードウェア要件を満たしていることを確認してください。

メモリおよびディスク使用量は、目的のTalendプロジェクトのサイズや特性によって大きく異なります。ただし、多くの変換コンポーネントがジョブに含まれる場合は、次の推奨事項を基に、サーバーに割り当てるメモリの合計量をアップグレードすることを検討してください。

## メモリ使用量

製品	クライアント/サーバー	推奨メモリ	メモ
Talend Studio	クライアント	最低3 GB、4 GBを推奨	

## ディスク容量要件

製品	クライアント/サーバー	インストールに必要なディスク容量	使用に必要なディスク容量
Talend Studio	クライアント	3GB	3 GB以上

## UnixシステムでのUlimit設定

UnixシステムでTalendサーバーモジュールを最大限に活用してパフォーマンスを向上させるには、使用するUnixシステムに応じて、システムリソース(ulimit)の制限を無制限に設定する必要があります。

## ソフトウェア要件

### 互換性のあるオペレーティングシステム

このページでは、Talend製品用に推奨およびサポートされるオペレーティングシステムについて詳しく説明します。

このドキュメンテーションで使用する用語の意味は以下のとおりです。

- 推奨: 過去の経験と顧客事例に基づいてTalendにより推奨される環境を示します。
- サポート: リストされているコンポーネントまたはサービスの使用においてサポートされる環境を示します。
- 制限付きでサポート: メモで説明されている特定の条件付きでTalendによってサポートされる環境を示します。

次の表に記載されている情報は、Talend製品リリース時の7.0.1バージョンに適用されます。サポートされる最新のソフトウェアまたはデータベースの更新情報は、[Talend Help Center](#)のこのページのオンラインバージョンを参照してください。

### Talend Studio

サポートタイプ	オペレーティングシステム(64ビット)	
推奨	Linux	Ubuntu 16.04 LTS
	Windows	Microsoft Windows 10

サポートタイプ	オペレーティングシステム(64ビット)	
サポート	Linux	Ubuntu 17.04
		Ubuntu 14.04 LTS
		Red Hat Enterprise Linux Server/ CentOS 7.4
		Red Hat Enterprise Linux Server/ CentOS 7.3
		Red Hat Enterprise Linux Server/ CentOS 7.2
		Red Hat Enterprise Linux Server/ CentOS 7.1
		Red Hat Enterprise Linux Server/ CentOS 6.9
		Red Hat Enterprise Linux Server/ CentOS 6.8
	Windows	Microsoft Windows Professional 7
		Microsoft Windows Server 2016 RTM
		Microsoft Windows Server 2012 RTM
	Mac	Apple macOS 10.13/High Sierra
		Apple macOS 10.12/Sierra
		Apple OS X 10.11/El Capitan

## 互換性のあるJava環境

次の表は、Talend製品を使用するためにダウンロードしてインストールすべき推奨Java環境に関する情報を示しています。

コンパイラ準拠レベルは、ジョブコード生成に使用されるJavaバージョンに対応します。このオプションは、Studio環境設定で変更できます。詳細は、『Talend Studioユーザーガイド』を参照してください。

このドキュメンテーションで使用する用語の意味は以下のとおりです。

- 推奨: 過去の経験と顧客事例に基づいてTalendにより推奨される環境を示します。
- サポート: リストされているコンポーネントまたはサービスの使用においてサポートされる環境を示します。
- 制限付きでサポート: メモで説明されている特定の条件付きでTalendによってサポートされる環境を示します。

次の表に記載されている情報は、Talend製品リリース時の7.0.1バージョンに適用されます。サポートされる最新のソフトウェアまたはデータベースの更新情報は、[Talend Help Center](#)のこのページのオンラインバージョンを参照してください。

### Studio Java環境

サポートタイプ	JREバージョン	Studio JDKコンパイラ準拠レベル
推奨	Oracle 8	1.8 (デフォルト)

## XULRunnerパッケージのインストール

LinuxでStudioを実行するにはXULRunnerパッケージが必要です。推奨されるXULRunnerパッケージバージョンはXULRunner v 1.9.2.28です。

サポートされているバージョンはv1.8.x - 1.9.xおよびv3.6.xです。

### 手順

1. [この場所](#)からXULRunner v1.9.2.28をダウンロードします。
2. Studioアーカイブを展開したディレクトリでアーカイブファイルを展開します。ただし、Studioフォルダー内には展開しないでください。
3. Linuxアーキテクチャに対応するStudioの.iniファイルの最後に以下の行を追加します:

```
-Dorg.eclipse.swt.browser.XULRunnerPath=</usr/lib/xulrunner>
```

</usr/lib/xulrunner>はXULRunnerのインストールパスを示しています。

たとえば、ユーザーのホームディレクトリ/home/<user>/Talend/の下ディレクトリにStudioを展開した場合は、.iniファイルに以下を追加する必要があります: -Dorg.eclipse.swt.browser.XULRunnerPath=/home/<user>/Talend/xulrunner/

## JAVA\_HOMEの設定

Talend製品がマシンにインストールされているJava環境を使用するには、JAVA\_HOME環境変数を設定する必要があります。

### 手順

1. Javaがインストールされているフォルダーを見つけます(通常、/usr/lib/jvm/java-x-oracle)。
2. ターミナルを開きます。
3. exportコマンドを使用して、JAVA\_HOMEおよびPath変数を設定します。

以下が設定例です。

```
export JAVA_HOME=/usr/lib/jvm/jre1.8.0_65
export PATH=$JAVA_HOME/bin:$PATH
```

4. 上記の行を、`/etc/profile`ファイルのグローバルプロファイル、または`~/.profile`ファイルのユーザープロファイルの最後に追加します。  
ファイルを変更した後に、再度ログオンする必要があります。



# 手動によるTalend Open Studio for Data Integrationのインストール

## Talend Studioのインストールと設定

### アーカイブの解凍

#### 手順

1. [このページ](#)から製品をダウンロードして下さい。
2. 解凍します。

### メモリ設定とJVM設定の編集

Talend Studioの実行時および起動時にパフォーマンスを向上させるため、次の手順を実行します。 .iniのメモリ設定を編集することができます。

#### 手順

1. TOS\_DI-linux-gtk-x86\_64.ini ファイルを編集します。
2. メモリ属性を編集します。たとえば、次のような場合があります。

```
-vmargs -Xms40m -Xmx500m -XX:MaxMetaspaceSize=256m
```

詳細は、<http://www.oracle.com/technetwork/java/hotspotfaq-138619.html>を参照してください。

### Talend Studioの起動

#### 手順

TOS\_DI-linux-gtk-x86\_64実行可能ファイルをダブルクリックしてTalend Studioを起動します。

TOS\_DI-linux-gtk-x86.shファイルを使用して、ターミナルからTalend Studioを起動することもできます。

必要に応じて、次のコマンドで実行権限を追加します。

```
chmod +x TOS_DI-linux-gtk-x86.sh
```

### 外部モジュールのインストール

Talend Studioでは、ソースやターゲットに接続するために、特定のサードパーティJavaライブラリまたはデータベースドライバ(.jarファイル)をインストールする必要があります。

外部モジュールと呼ばれるこれらのライブラリまたはドライバは一部のTalendコンポーネント、一部の接続ウィザード、またはその両方で必要とされる場合があります。Talendは、ライセ

ンスの制約のため、これらの外部モジュールの一部をTalend Studioに含めて出荷できない場合があります。Studioを適切に動作させるには、これらをインストールする必要があります。

### 必要な外部モジュールを調べる

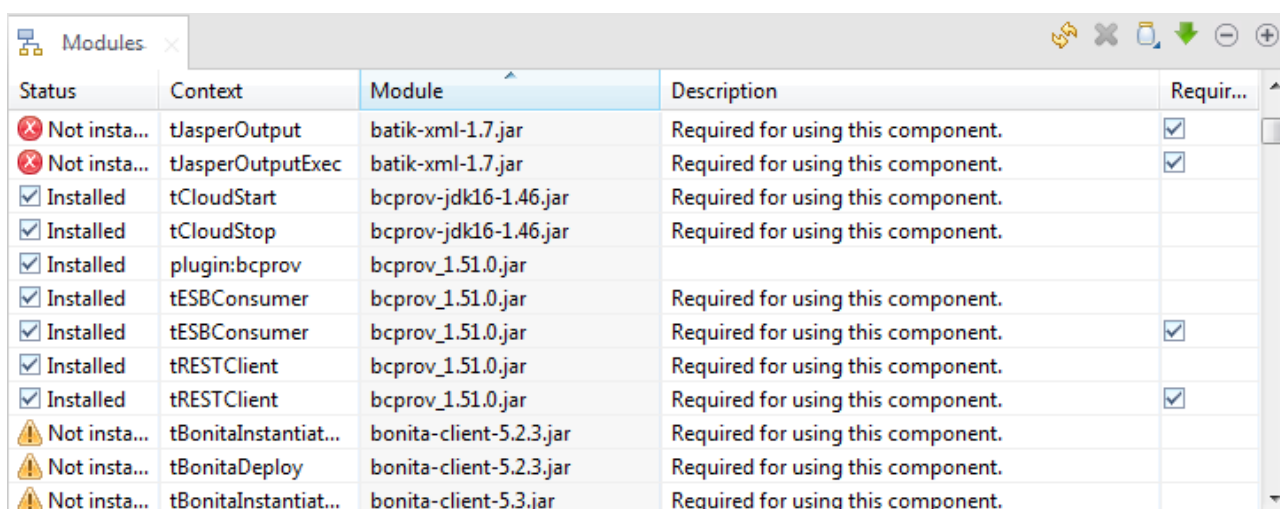
Talend Studioを起動したとき、またはTalend Studioメニューの[Help] (ヘルプ) > [Install Additional Packages] (追加パッケージのインストール) を選択したとき、フィーチャーに必要な外部モジュールが不足していることが検出されると[Additional Talend packages] (Talendパッケージの追加)ウィザードが開きます。ここでは、[Optional] (任意)および[Required third-party libraries] (必須の他社ライブラリ)のチェックボックスが表示されます。これらのチェックボックスがオンになっていることを確認し、[Finish] (終了)をクリックすると、[Download external modules] (外部モジュールをダウンロード)ダイアログボックスが表示されます。ここには利用可能なすべての外部モジュールとそれらのライセンス規約が表示され、1回クリックするだけですべてのモジュールをインストールできます。詳細は、[外部モジュールのインストール](#) (14ページ) を参照してください。

デザインワークスペースで、コンポーネントの動作に外部モジュールのインストールが必要な場合、このコンポーネントには赤色のインジケータが表示されます。エラーインジケータにマウスポインターを合わせると、ツールチップのメッセージによって、そのコンポーネントが動作するために必要な外部モジュールが示されます。

1つまたは複数の外部モジュールが必要なコンポーネントの[Basic settings] (基本設定)ビューまたは[Advanced settings] (詳細設定)ビューを開くと、外部モジュールに関する主要情報が表示され、そのとらに[Install] (インストール)ボタンが表示されます。[Install] (インストール)ボタンをクリックすると、ウィザードが開き、インストール対象の外部モジュールが示されます。



[Modules] (モジュール)ビューにはTalend Studioに組み込まれたコンポーネントを使用するために必要なすべてのモジュールが表示されます。これには関連するコンポーネントやメタデータ接続を機能させるためにインストールが必要なJavaライブラリおよびドライバーが含まれます。

デザインワークスペースに[Modules](モジュール)ビューが表示されていない場合は、[Window] (ウィンドウ) > [Show View] (ビューの表示) > [Talend]と選択し、一覧から[Modules](モジュール)を選択します。



Status	Context	Module	Description	Requir...
Not insta...	tJasperOutput	batik-xml-1.7.jar	Required for using this component.	<input checked="" type="checkbox"/>
Not insta...	tJasperOutputExec	batik-xml-1.7.jar	Required for using this component.	<input checked="" type="checkbox"/>
Installed	tCloudStart	bcprov-jdk16-1.46.jar	Required for using this component.	<input type="checkbox"/>
Installed	tCloudStop	bcprov-jdk16-1.46.jar	Required for using this component.	<input type="checkbox"/>
Installed	plugin:bcprov	bcprov_1.51.0.jar		<input type="checkbox"/>
Installed	tESBConsumer	bcprov_1.51.0.jar	Required for using this component.	<input type="checkbox"/>
Installed	tESBConsumer	bcprov_1.51.0.jar	Required for using this component.	<input checked="" type="checkbox"/>
Installed	tRESTClient	bcprov_1.51.0.jar	Required for using this component.	<input type="checkbox"/>
Installed	tRESTClient	bcprov_1.51.0.jar	Required for using this component.	<input checked="" type="checkbox"/>
Not insta...	tBonitaInstantiat...	bonita-client-5.2.3.jar	Required for using this component.	<input type="checkbox"/>
Not insta...	tBonitaDeploy	bonita-client-5.2.3.jar	Required for using this component.	<input type="checkbox"/>
Not insta...	tBonitaInstantiat...	bonita-client-5.3.jar	Required for using this component.	<input type="checkbox"/>


以下に示す表では、[Modules](モジュール)ビューで表示される情報について説明します。

列	説明
ステータス	<p>モジュールがシステムにインストールされているかどうかを示します。</p> <p> アイコンはとなりの<b>Context</b> (コンテキスト)列に表示されたコンポーネントまたはメタデータ接続に対してこのモジュールが必ずしも必要ではないことを示します。</p> <p> アイコンはコンポーネントまたはメタデータ接続に対してこのモジュールが必須であることを示します。</p>
Context (コンテキスト)	<p>モジュールを使用する<b>Talend</b>コンポーネントまたはメタデータ接続の名前を表示します。この列が空欄の場合は、そのモジュールがTalend Studioの使用全般に必要であることを意味します。</p> <p>この列はTalend Studioライブラリフォルダーに作成し保存したルーチンに追加された外部ライブラリを一覧表示します。詳細は、『Talend Studioユーザーガイド』を参照してください。</p>
Module(モジュール)	モジュールの正確な名前が表示されます。
説明	モジュール/ライブラリが必要な理由について説明します。
Required(必須)	チェックボックスがオンの場合は、モジュールが必須であることを示します。

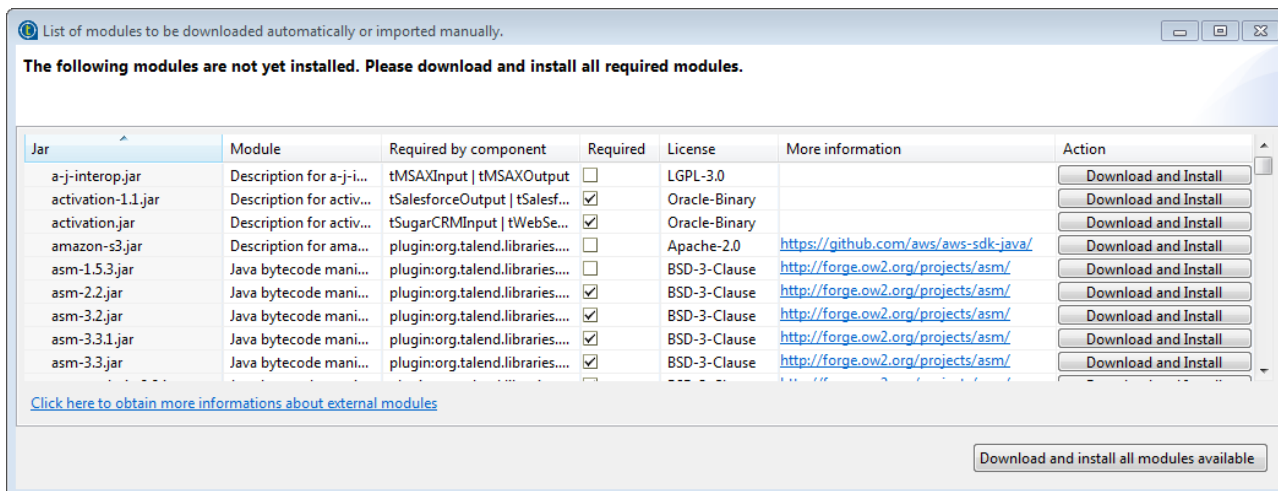
**Modules** (モジュール)ビューに加え、Talend Studioには、必須の他社モジュールのほとんどを簡単に識別してTalend Webサイトからダウンロードしてインストールできるようにし、それ以外の場合については有効なWebサイトへ案内する仕組みがあります。

Talend Studioのフィーチャーに必要な外部モジュールが見つからないときにはJarインストールウィザードが表示されます。次のような場合が該当します。

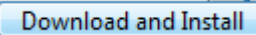

- **[Palette]** (パレット)からコンポーネントをドロップした際に、そのコンポーネントを動作させるために必要な1つまたは複数の外部モジュールがTalend Studioに存在しない場合
- Talend Studioのメタデータ接続セットアップウィザードの**[Check]** (チェック)ボタンをクリックした際に、接続に必要な1つまたは複数の外部モジュールがTalend Studioに存在しない場合
- コンポーネントの**Component** (コンポーネント)ビューで**[Guess schema]** (スキーマの推測)ボタンをクリックした際に、そのコンポーネントを動作させるために必要な1つまたは複数の外部モジュールがTalend Studioに存在しない場合
- 1つまたは複数の必須外部モジュールが不足しているコンポーネントの**[Basic settings]** (基本設定)または**[Advanced settings]** (詳細設定)ビューの上部で **[Install]** (インストール)をクリックした場合
- 1つまたは複数の必須外部モジュールが不足しているコンポーネントまたはメタデータ接続が関連するジョブを実行した場合

- **Modules**(モジュール)ビューの  ボタンをクリックした場合

**① 注:** このボタンをクリックすると、Talend Studioに含まれていない必須外部モジュールすべてを一覧に表示したウィザードが表示されます。



以下に示す表では、ウィザードで表示される情報について説明します。

項目	説明
Jar	外部モジュールのファイル名。
Module (モジュール)	モジュールの性質についての簡単な説明。
Required by component (必要なコンポーネント)	外部モジュールを必要とするコンポーネントの一覧が表示されます。
Required(必須)	チェックボックスがオンの場合は、モジュールが必須であることを示します。
License (ライセンス)	モジュールが提供されるライセンス。
More information (詳細情報)	このモジュールに関する詳細情報を入手し、モジュールを手動でダウンロードできる、有効なWebサイトのURLを提供します。
Action(アクション)	<p> これをクリックすると、TalendWebサイトで利用可能なモジュールをダウンロードしてインストールするための[Download external modules] (外部モジュールをダウンロード)ダイアログボックスが開きます。</p> <p><a href="#">Open in browser</a>  :これをクリックすると、Talend Webサイトでは取得できないモジュールをダウンロードするための有効なWebサイトが開きます。ダウンロード後、ピン型のボタンをクリックしてダウンロードしたモジュールをTalend Studioにインポートします。</p>

項目	説明
	 :ユーザー自身でモジュールを探してダウンロードする必要があります。ビン型のボタンをクリックしてTalend Studioにインポートします。
	これをクリックすると、Talend Webサイトで利用可能な必須モジュールをすべてダウンロードしてインストールするための <b>[Download external modules]</b> (外部モジュールをダウンロード)ダイアログボックスが開きます。
<b>Do not show again</b> (次回から表示しない)	これをオンにすること、 <b>Modules</b> (モジュール) タブビューの  ボタンをクリックするまで、ウィザードが表示されなくなります。  このチェックボックスは、外部モジュールを必要とするコンポーネントのドロップ、接続の設定、またはデータベースのスキーマの推測を行った場合にのみ表示されます。また、外部モジュールを必要とするコンポーネントの <b>Component</b> (コンポーネント)タブで <b>[Install]</b> (インストール)ボタンをクリックしたときにも表示されます。
<b>Click here to obtain more information about external modules</b> (ここをクリックして外部モジュールの詳細を参照)	これをクリックすると、他社モジュールのインストールに関するTalendオンラインドキュメントが表示されます。

このウィザードはインストールする外部モジュール、その提供ライセンス、ダウンロードするための有効なWebサイトのURLを一覧表示します。また、Talend Webサイトで利用できるすべてのモジュールを自動でダウンロードしてインストールし、Talend Webサイトで利用できないモジュールについては**Action**(アクション)列のリンクを利用してダウンロードし、手動でTalend Studioにインストールできるようにします。

外部モジュールを必要とするコンポーネントのドロップ、接続の設定、またはデータベースのスキーマの推測を行う際に、Talend WebサイトでJarファイルとダウンロードURLのどちらも利用できない場合は、Jarインストールウィザードは表示されません。ただし、**Error Log** (エラーログ)ビューに、該当するモジュールのダウンロードURLが利用できなかったことを示すエラーメッセージが表示されます。この場合は、ユーザー自身でURLを探してダウンロードし、手動でTalend Studioにインストールすることができます。

**i** 注：タブシステムに**Error Log** (エラーログ)ビューを表示するには、**[Window] (ウィンドウ) > [Show views] (ビューの表示)**を選択し、**[General] (一般情報)**ノードを展開して**[Error Log] (エラーログ)**を選択します。

## 外部モジュールのインストール

### Talend Studioにモジュールをダウンロードしてインストール

#### 始める前に

ネットワークプロキシを使用して作業する場合、Talend Studioに外部モジュールをダウンロードしてインストールする前に、プロキシが正しく設定されているか確認してください。

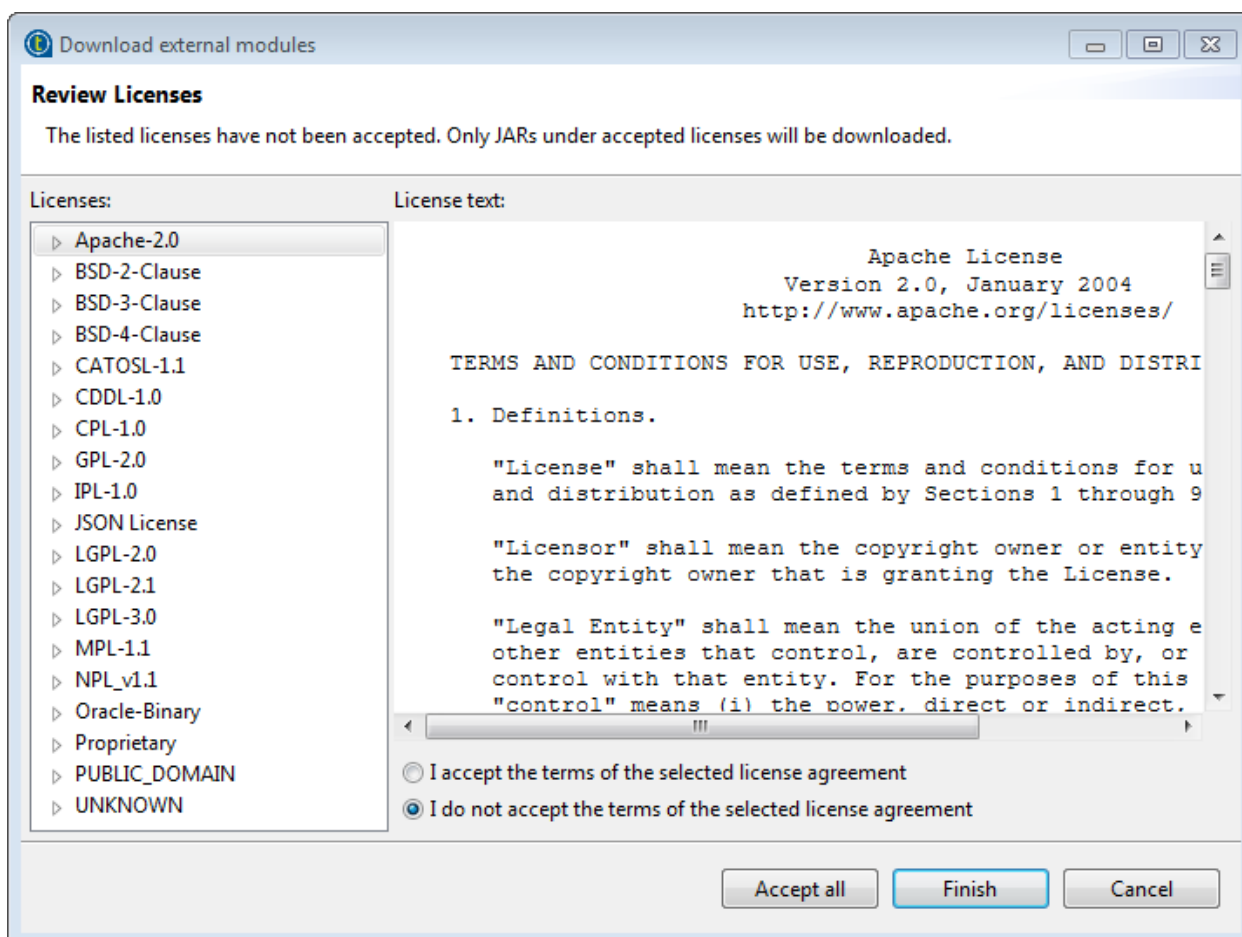
プロキシ設定を開くには、メニューで**[Window] (ウィンドウ) > [Preferences] (環境設定)**を選択して**[Preferences] (環境設定)**ウィンドウを開き、**[General] (全般設定)**ノードを展開して**[Network Connections] (ネットワーク接続設定)**をクリックします。

Webサイト<http://talend-update.talend.com>とポート443をホワイトリストに追加します。

#### 手順

1. Jarインストールウィザードで、**[Download and Install](ダウンロードとインストール)**をクリックすると特定のモジュールをインストールでき、**[Download and install all modules available](すべてのモジュールをダウンロードおよびインストール)**をクリックすると利用可能なすべてのモジュールをインストールできます。また、メニューから**[Help] (ヘルプ) > [Install Additional Packages] (追加パッケージのインストール)**を選択すると、**[Additional Talend Packages](Talendパッケージの追加)**ウィザードが開きます。このウィザードで、**[Optional third-party libraries] (追加の他社ライブラリ)**および**[Required third-party libraries] (必要な他社ライブラリ)**のチェックボックスがオンになっていることを確認し、**[Finish](終了)**をクリックします。**[Download external modules] (外部モジュールをダウンロード)**ダイアログボックスが開きます。

**① 注：** この**[Additional Talend Packages](Talendパッケージの追加)**ウィザードは、Talend Studioで機能するフィーチャーをインストールする必要がある場合に、外部モジュールなど追加パッケージが必要な場合にTalend Studioを起動すると自動的に表示されます。




2. 特定のライセンスで提供されている外部モジュールをダウンロードしてインストールするには、**[Licenses](ライセンス)**ペインから該当するライセンスを選択します。利用条件を確認して**[I accept the terms of the license agreement](使用許諾契約書の条件に同意します)**オプションを選択し、**[Finish](終了)**をクリックしてダウンロードとインストールを開始します。

一覧のすべてのライセンスで提供される、すべての外部モジュールをダウンロードしてインストールするには、**[Accept all](すべて同意)**ボタンをクリックして、ダウンロードとインストールを開始します。

択した外部モジュールまたはモジュールのインストール時に、正常にインストールされたモジュールの数や、インストールに失敗したモジュールについて通知するダイアログボックスが表示されます (ある場合)。

ローカルファイルシステムに保存された外部モジュールを手動でインストールするには、次の手順に従います。

- a) **[Modules](モジュール)**ビューの右上またはJarインストールウィザードにある  ボタンをクリックして、ローカルファイルシステムを参照します。

デザインワークスペースに**[Modules](モジュール)**ビューが表示されていない場合は、**[Window](ウィンドウ) > [Show View](ビューの表示) > [Talend]**と選択し、一覧から**[Modules](モジュール)**を選択します。

- b) システムの**[Open](開く)**ダイアログボックスで、インストールするモジュールの場所へ移動し、.jarファイルをダブルクリックするか、このファイルを選択して**[Open](開く)**をクリックし、インストールします。

ダイアログボックスが閉じ、選択したモジュールが現在のTalend Studioのライブラリフォルダーにインストールされます。

これで、このモジュールに依存するコンポーネントまたはメタデータ接続をジョブで使用することができます。

### **Talend Webアプリケーション用の外部Webサイトからダウンロードした外部モジュールを手動でインストール**

一部のモジュールはTalendのWebサイトからはダウンロードできませんが、外部のWebサイトから直接ダウンロードできます。ダウンロードしたモジュールは特定のフォルダーに配置する必要があります。

- Talend Studioでは、ダウンロードしたモジュールを次のフォルダーに配置する必要があります。 <StudioPath>/configuration/.m2



# Talend製品のアップグレード

## 環境のバックアップ

Talendソリューションの移行を開始する前に、お使いの環境が正しくバックアップされていることを確認します。


環境のバックアップの手順には、次の必須ステップが含まれます。

**① 注:** これらのステップは、通常、次の順序で完了する必要があります。

1. ローカルプロジェクトの保存。 [ローカルプロジェクトの保存](#) (17ページ) を参照してください。

## ローカルプロジェクトの保存

### 手順

1. Studioを起動します。
2.  アイコンをクリックし、ローカルプロジェクトをアーカイブファイルにエクスポートします。

## Talend StudioでTalendプロジェクトをアップグレード

### ローカルプロジェクトのインポート

#### 手順

1. インストールした新しいTalend Studioを起動します。
2. ログインウィンドウで、**[Import]** (インポート) を選択し、ローカルプロジェクトが含まれるアーカイブファイルをインポートします。

#### タスクの結果

ローカルプロジェクトが **[Project]** (プロジェクト) リストと、の Talend Studio **[Repository]** (リポジトリ) ビューに表示されます。

ローカルプロジェクトをアーカイブファイルにエクスポートする方法の詳細は、 [ローカルプロジェクトの保存](#) (17ページ) を参照してください。

## 付録

### サポートされる他社のシステム/データベース/ビジネスアプリケーションのバージョン

このドキュメントは、Talend Studioでサポートされるシステム、データベース、またはビジネスアプリケーションのバージョンについて説明します。

#### Talendコンポーネントによってサポートされるシステム、データベースおよびビジネスアプリケーション

次の表に記載されている情報は、Talend製品リリース時の7.0.1バージョンに適用されます。サポートされる最新のソフトウェアまたはデータベースの更新情報は、[Talend Help Center](#)のこのページのオンラインバージョンを参照してください。

システム、データベース、およびビジネスアプリケーションへのアクセスは、使用しているStudioによって異なります。

システム/データベース	バージョン	OS	以下で使用可能...	メモ
Amazon Redshift	Amazon Redshiftの初期リリース	N/A	すべてのTalend製品	テスト情報はまだ利用できません。
AS/400	V5R2からV5R4まで V5R3からV6R1 V6R1からV7R2	N/A	すべてのTalend製品	テスト情報はまだ利用できません。
Access	2003 2007	Windows	Talend製品とData Integration (DI)、Master Data Management (MDM)、Enterprise Service Bus (ESB)またはBig Dataとの併用	Java 8を使用する場合、汎用照合モードのみがサポートされます。
Bonita	5.2.3 5.3.1 5.6.1 5.10.1 6.5.2 7.2.4	N/A	すべてのTalend製品	テスト情報はまだ利用できません。

システム/データベース	バージョン	OS	以下で使用可能...	メモ
Cassandra	2.0.0 3.0/3.1/3.2/3.3/3.4 (非推奨バージョン:1.1.2/1.2.2)	Windows + Linux	Talend製品とBig Dataとの併用	
CouchBase	4.5 5.0	Windows	Talend製品とBig Dataとの併用	
CouchDB	1.0.2	Windows	Talend製品とBig Dataとの併用	
汎用データベース	ODBC	Windows	すべてのTalend製品	
DB2	11.X 10.5 10.1	Windows + Linux	Talendコンポーネントとすべての製品の併用 Talend製品とMDM、またはESBとの併用	
DynamoDB	指定されたバージョンなし	N/A	Talend製品とBig Dataとの併用	テスト情報はまだ利用できません。
EXASolution	6.0以前	Windows	Talend製品とDI、MDM、ESBまたはBig Dataとの併用	
Elasticsearch	Until 2.3.X	N/A	Talend製品とBig Dataとの併用	テスト情報はまだ利用できません。
FireBird	2.1	Windows + Linux	Talend製品とDI、MDM、ESBまたはBig Dataとの併用	
Greenplum	4.2.1.0	Windows(クライアントのみ) + Linux	Talend製品とDI、MDM、ESBまたはBig Dataとの併用	
HSQLDb	1.8.0	N/A	Talend製品とDI、MDM、ESBまたはBig Dataとの併用	テスト情報はまだ利用できません。
Informix	11.50	Windows + Linux	すべてのTalend製品	
Ingres	9.2	Windows + Linux	すべてのTalend製品	

システム/データベース	バージョン	OS	以下で使用可能...	メモ
Interbase	7以降	N/A	Talend製品とDI、MDM、ESBまたはBig Dataとの併用	テスト情報はまだ利用できません。
JavaDB	6	Windows + Linux	Talend製品とDI、MDM、ESBまたはBig Dataとの併用	
Kafka	0.8.2.0 0.9.0.1 0.10.0.1	Windows + Linux	Talend製品とBig Dataとの併用	Kafkaコンポーネントがサポートするセキュリティオプションについては、 <a href="#">Talend Help Center</a> を参照してください。
LDAP	バージョン制限なし	Windows + Linux	すべてのTalend製品	
Microsoft AX	Dynamics AX 4.0 Dynamics AX 2012	N/A	すべてのTalend製品	テスト情報はまだ利用できません。
Microsoft CRM	4.0 2011 2013 2015 2016	N/A	すべてのTalend製品	テスト情報はまだ利用できません。
MS SQL Server	2000 2003 2005 2008 2012 2014 2016	Windows + Linux	すべてのTalend製品	MS SQL Server 2014/2016で導入された新しいフィーチャーはサポートされません。
MarkLogic	V9	N/A	Talend製品とBig Dataとの併用	
MaxDB	7.6	N/A	Talend製品とDI、MDM、ESBまたはBig Dataとの併用	テスト情報はまだ利用できません。

システム/データベース	バージョン	OS	以下で使用可能...	メモ
MongoDB	2.6.X 3.0.X 3.2.X 3.4.X (非推奨バージョン: 2.5.X)	Windows + Linux	Talend製品とBig Dataとの併用	
MySQL	Mysql4 Mysql5 MariaDB	Windows + Linux	すべてのTalend製品	
Netezza	7.2	Windows + Linux	すべてのTalend製品	
NetSuite	2014 2016	Windows + Linux	すべてのTalend製品	
Neo4j	1.X.X 2.X.X/2.2.X/2.3 3.2.X	Linux	Talend製品とBig Dataとの併用	
OleDb	2000 2003 2005 2007 2010	N/A	すべてのTalend製品	テスト情報は まだ利用でき ません。
Oracle	Oracle 8i/9i/10g/11g/11g (11.6)/12c	Windows + Linux	すべてのTalend製品	
ParAccel	3.1 3.5	N/A	Talend製品 とDI、MDM、ESBまた はBig Dataとの併用	テスト情報は まだ利用でき ません。
PostgreSQL	9.X	Windows + Linux	すべてのTalend製品	
PostgresPlus	9.X	Windows + Linux	Talend製品 とDI、MDM、ESBまた はBig Dataとの併用	
Red Hat BRMS	6.1	Windows + Linux	Talend製品 とDI、MDM、ESBまた はBig Dataとの併用	
Salesforce	V42以前	Windows + Linux	すべてのTalend製品	

システム/データベース	バージョン	OS	以下で使用可能...	メモ
SAP Business Suite (ERP)	Netweaver: 7.3から7.5 ERP6.0、EhP6からEhP8	Windows	すべてのTalend製品	
SAP Business Warehouse (BW)	Netweaver: 7.31から7.5	Windows	すべてのTalend製品	
SAP Hana	1.0	Windows	すべてのTalend製品	
SAS	9.1 9.2	Windows + Linux	Talend製品 とDI、MDM、ESBまたはBig Dataとの併用	
SQLite	3.6.7	Windows + Linux	すべてのTalend製品	
Sybase	12.5 12.7 15.2 15.5 15.7 16.0	Windows + Linux	すべてのTalend製品	
SybaseIQ	12.5 12.7 15.2 16.0	Windows + Linux	すべてのTalend製品	
Teradata	12 13 14 15	Windows + Linux	すべてのTalend製品	
VectorWise	2	Windows + Linux	Talend製品 とDI、MDM、ESBまたはBig Dataとの併用	
Vertica	9.0.X (非推奨バージョン: 3、3.5、4、4.1、5. 0、5.1、6.0、6.1. X、7.0.X、7.1.X)	Windows + Linux	Talend製品 とDI、MDM、ESBまたはBig Dataとの併用	
VtigerCRM	Vtiger 5.0 Vtiger 5.1	N/A	すべてのTalend製品	テスト情報は まだ利用でき ません。